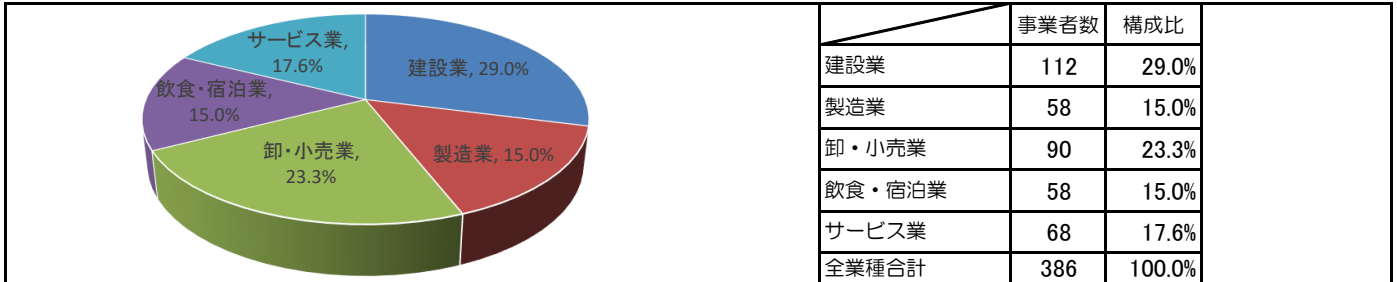


十日町市地域 企業景況調査 第2四半期報告書 (R4.7.1~R4.9.30) 川西地区

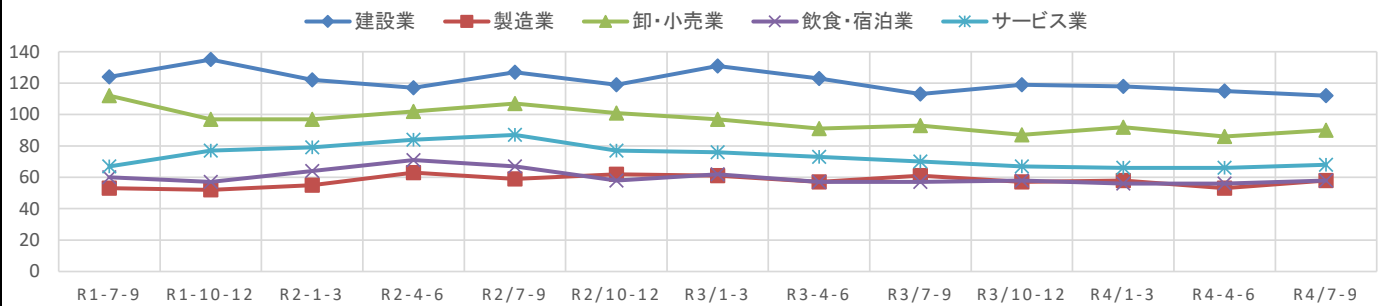
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>



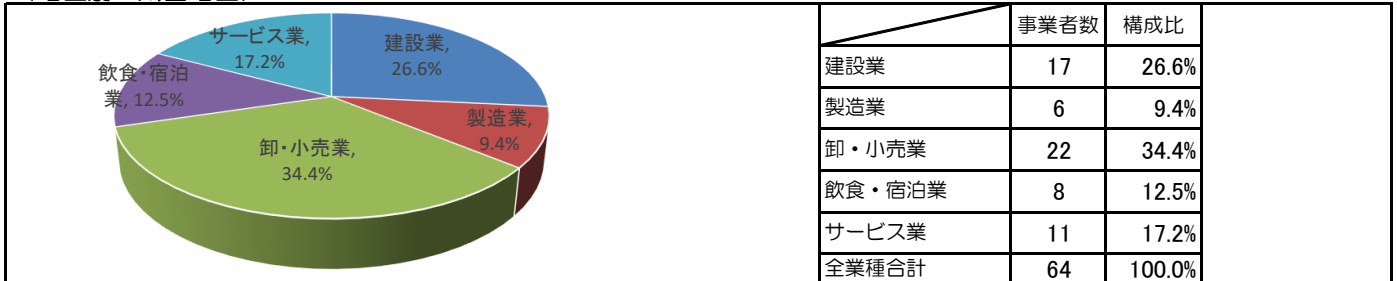
業種別調査事業所数の推移(市内全体)



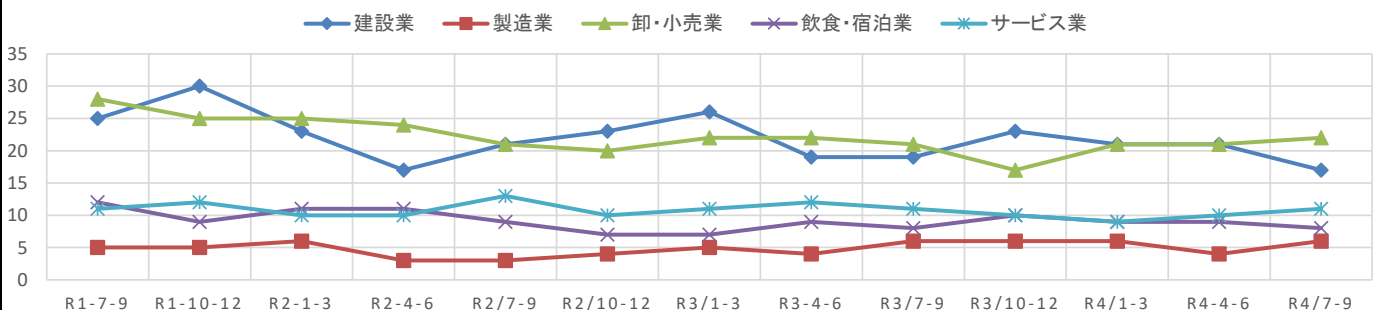
<コメント>

今回の調査は、十日町市内386事業所から回答を得られ、前回調査よりも10事業者増加している。建設業において減少があったものの、その他の業種については増加となった。

<地区別：川西地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



<コメント>

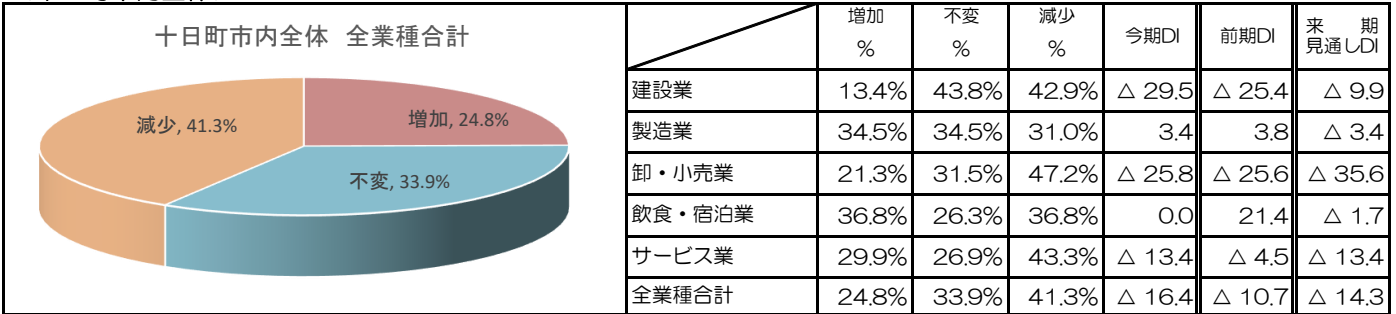
川西地区の今期の調査回答状況は商工業者100社に調査依頼をし、64社(回収率64%)からの回答をもとにした集計結果である。全業種で回答数・回答割合に変動があり、今回調査では卸・小売業の回答割合が最も高くなっている。

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

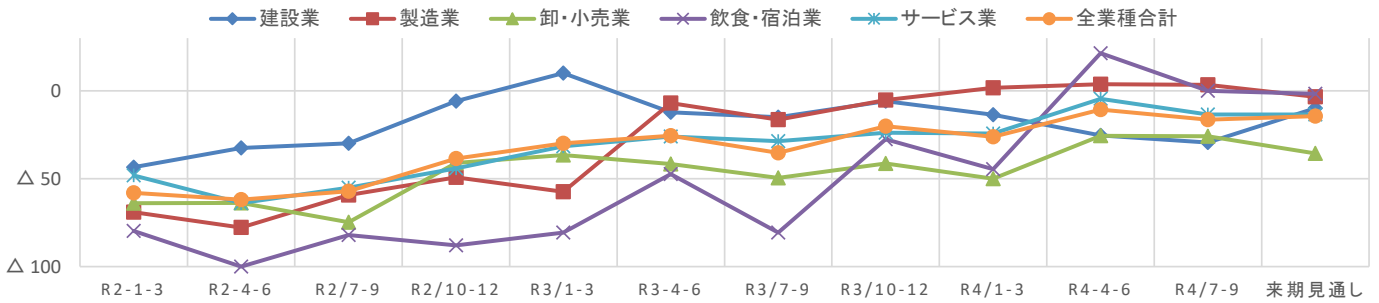
1. 売上について

- ・7月～9月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



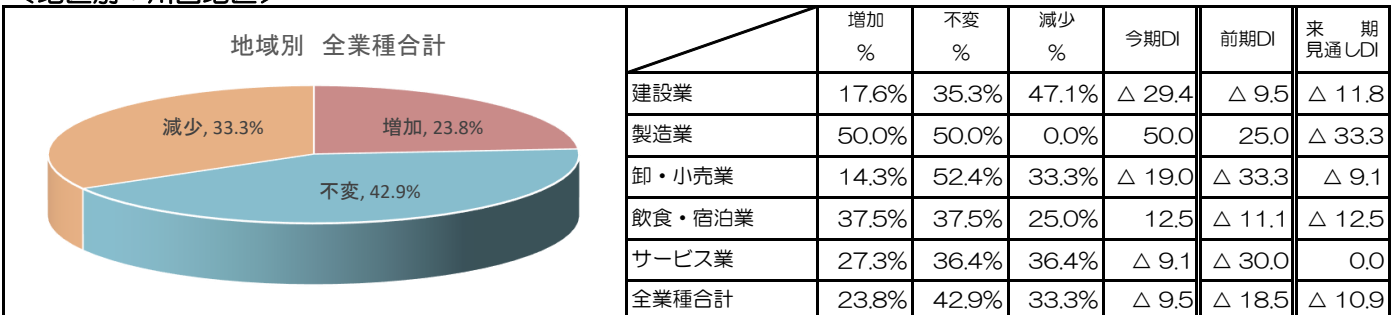
業種別売上の推移（市内全体）



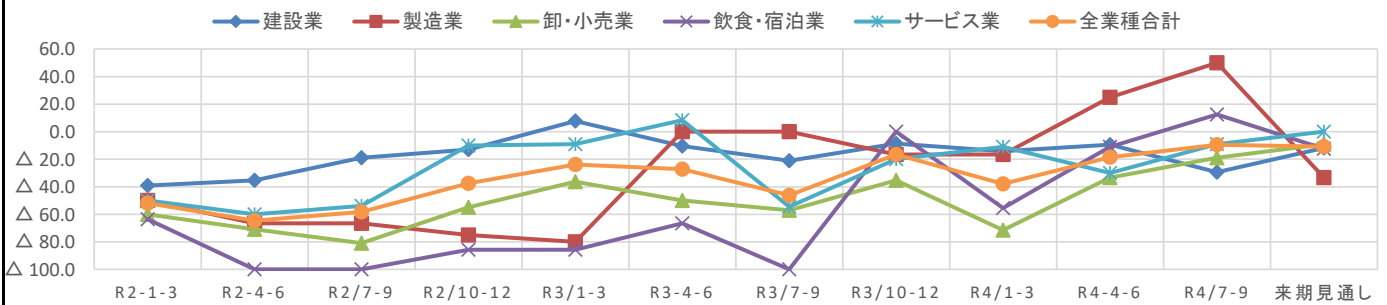
<コメント>

十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△16.4ポイントで、前回調査時よりも5.7ポイント減少となっている。全業種においてDI値が減少した。来期見通しでは建設業は増加予想、その他の業種は減少もしくは不変予想となり、全業種DI値は若干改善される見通しである。

<地区別：川西地区>



業種別売上の推移（地区別）



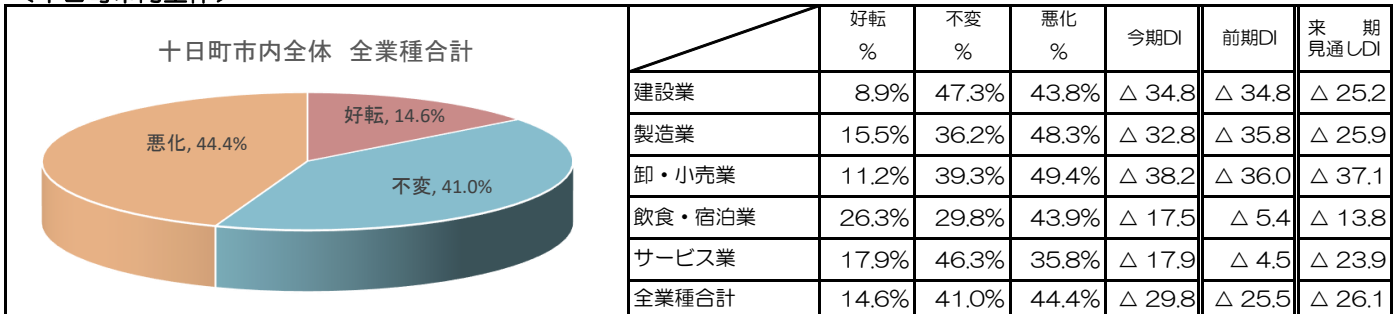
<コメント>

川西地区の今期の売上状況は全業種合計で△9.5ポイントとなっており、前回調査から9.0ポイント増加している。建設業では大きく減少しているが、その他の業種では増加が見られた。来期については、建設業、卸・小売業、サービス業で増加予測となっているが、製造業、飲食・宿泊業では減少の予測となっている。

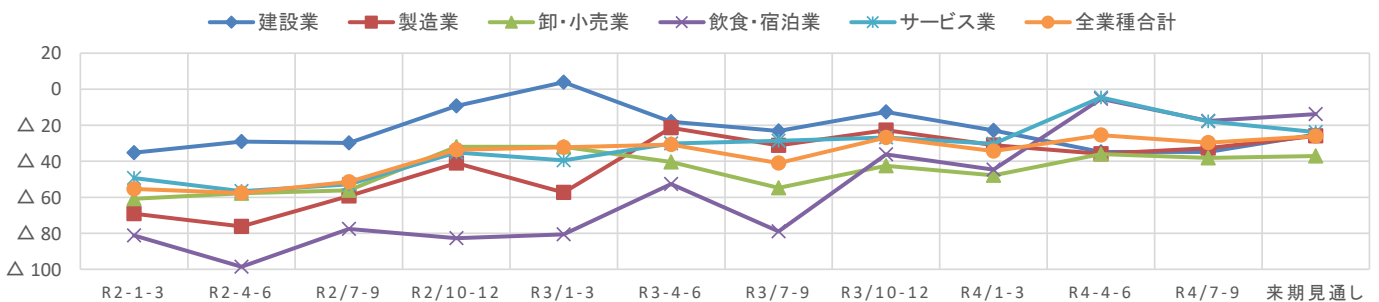
2. 採算について

- ・7月～9月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



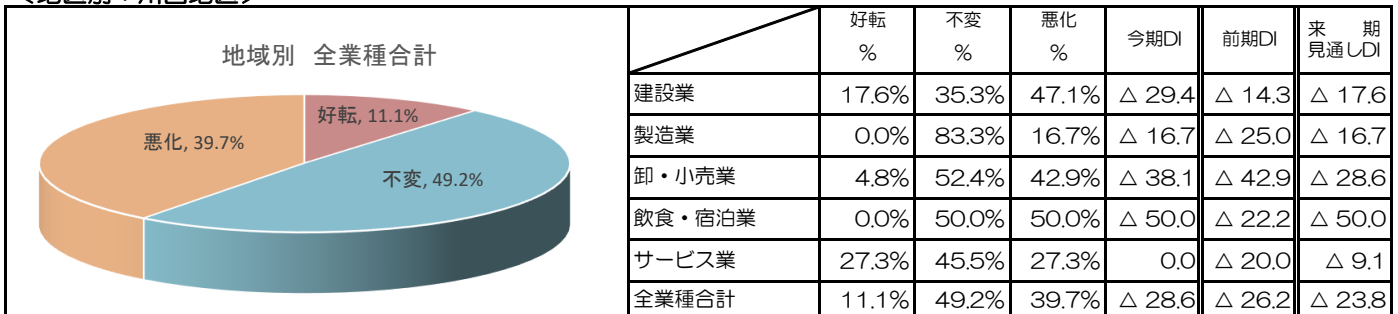
業種別採算の推移(市内全体)



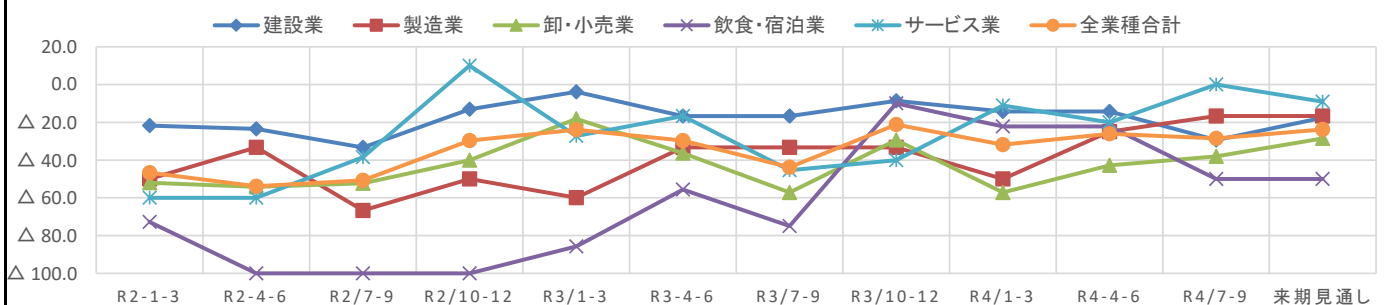
<コメント>

十日町市全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△29.8ポイントで、前回調査より4.3ポイント悪化している。原料、燃料の高騰の影響が大きいと見られ、特に飲食・宿泊業、サービス業での悪化が目立った。来期見通しでは、サービス業以外の業種において好転予測となり、全業種DI値においても好転する見通しとなる。

<地区別：川西地区>



業種別採算の推移(地区別)



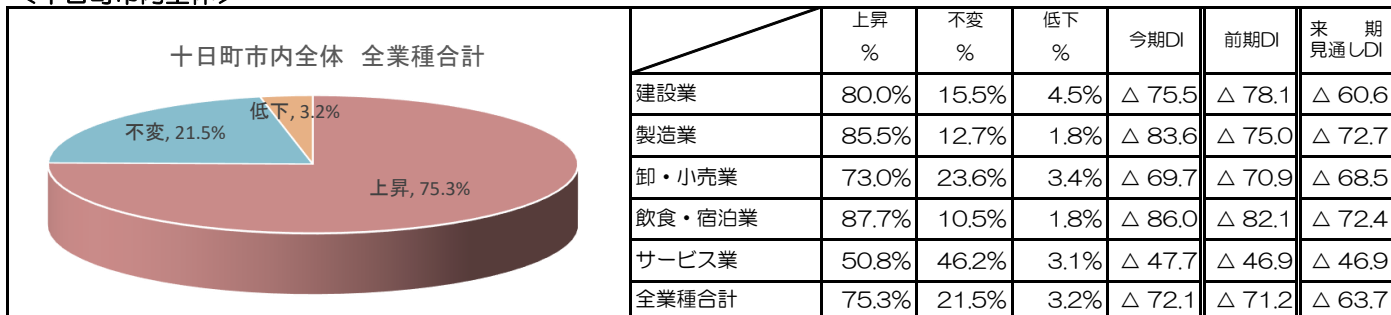
<コメント>

川西地区の今期の採算状況は全業種合計で△28.6ポイントとなっており、前回調査より2.4ポイント悪化している。建設業、飲食・宿泊業においては悪化、製造業、卸・小売業、サービス業においては好転が見られた。来期の見通しは、サービス業では減少予測であるが、建設業、卸・小売業では増加予測となっており、全体でも若干の好転予測となっている。

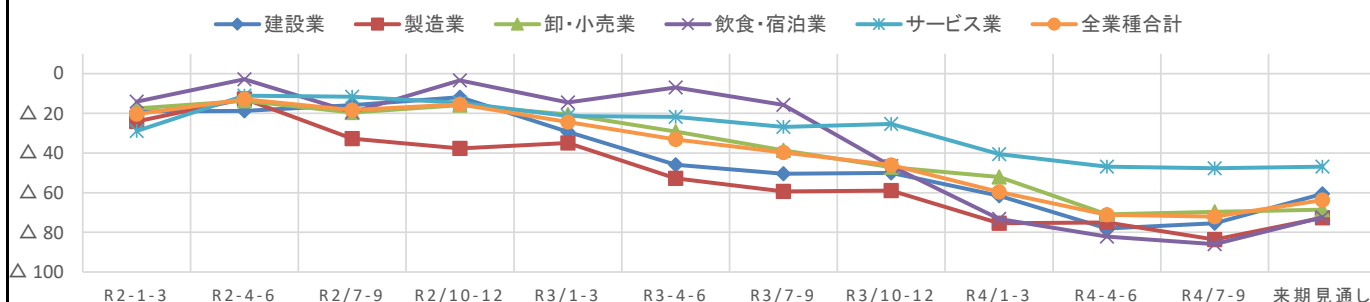
3. 仕入単価について

- 7月～9月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



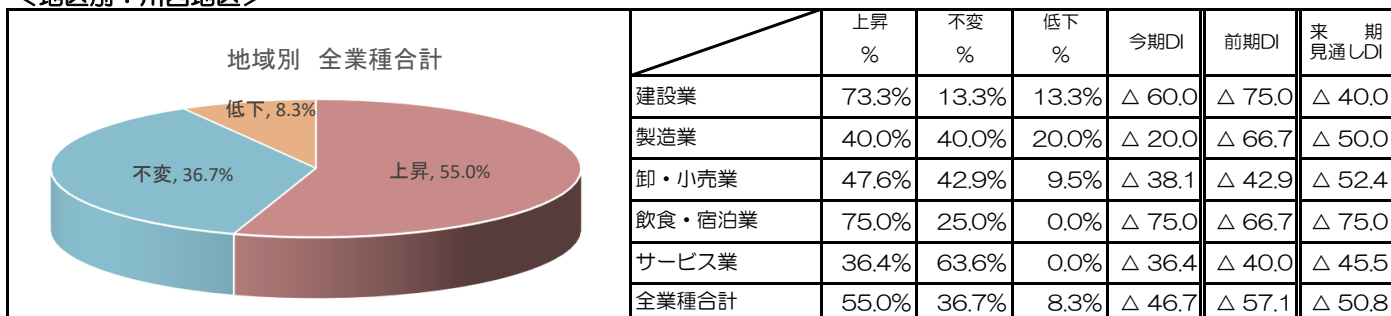
業種別仕入単価の推移(市内全体)



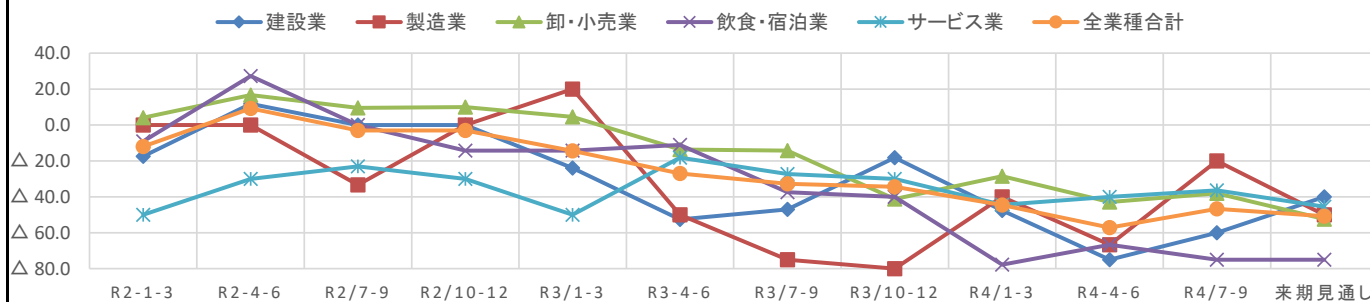
<コメント>

十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△72.1ポイントで、前回調査時よりも0.9ポイントの仕入単価上昇が見受けられる。建設業と卸・小売業以外の業種において上昇しており、原料・燃料高騰の影響が続いていると予想される。来期見通しは、今期よりも仕入単価が低下する見通しであるが、依然として動向には、注視する必要がある。

<地区別：川西地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)



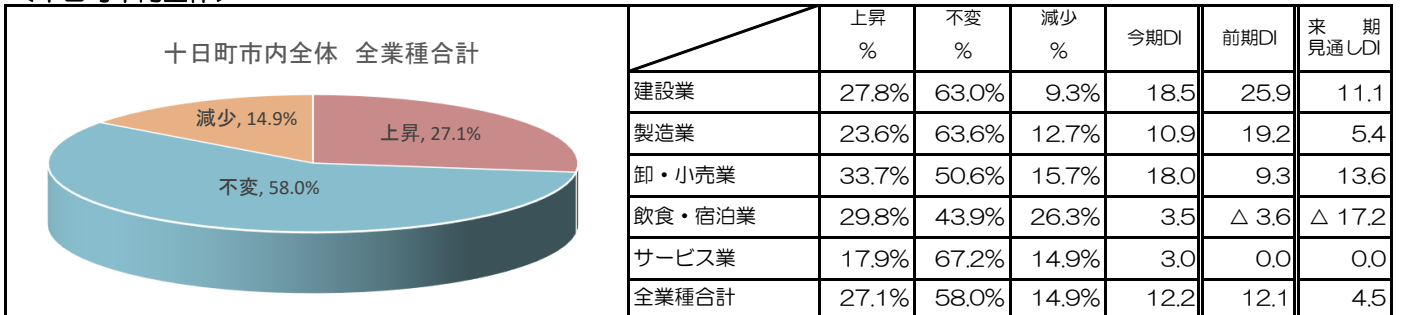
<コメント>

川西地区の仕入単価状況は全業種合計で△46.7ポイントとなっており、前回調査時より10.4ポイント低下となっている。飲食・宿泊業においては単価上昇が見られたが、その他の業種においては単価低下となった。来期の見通しは、建設業では単価低下の予測となっているが、製造業、卸・小売業、サービス業では単価上昇予測が出ている。

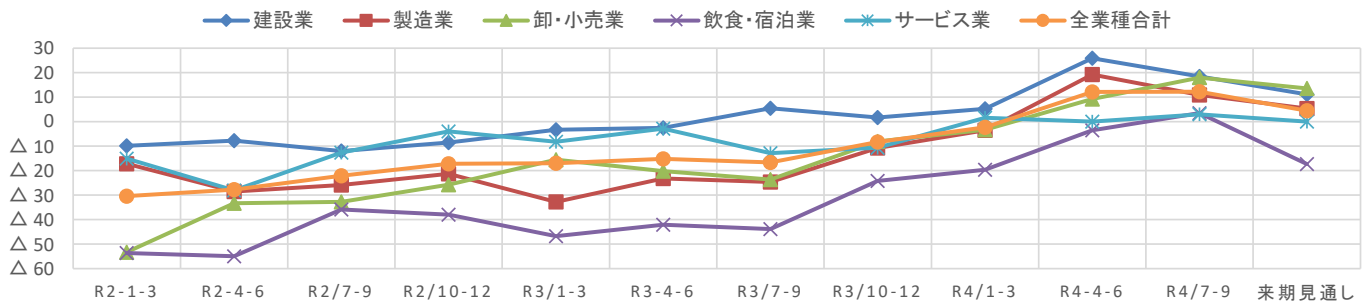
4. 販売（客）単価について

- ・7月～9月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



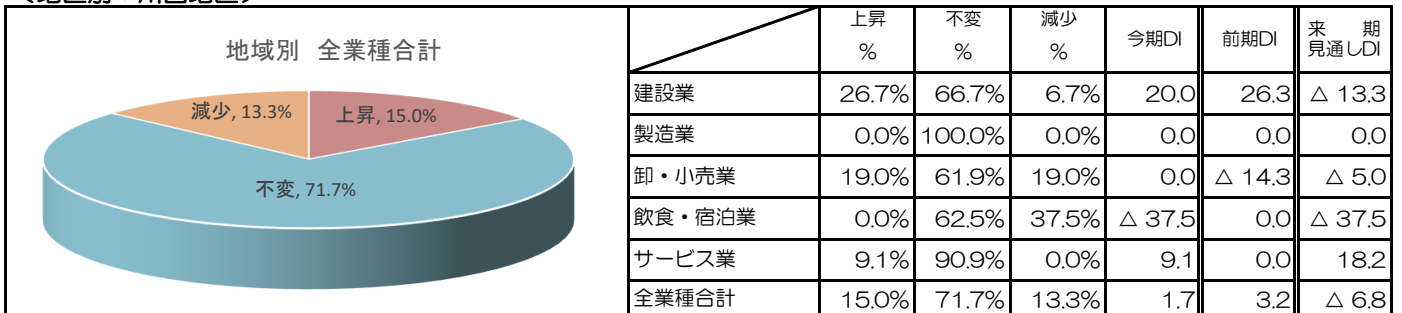
業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



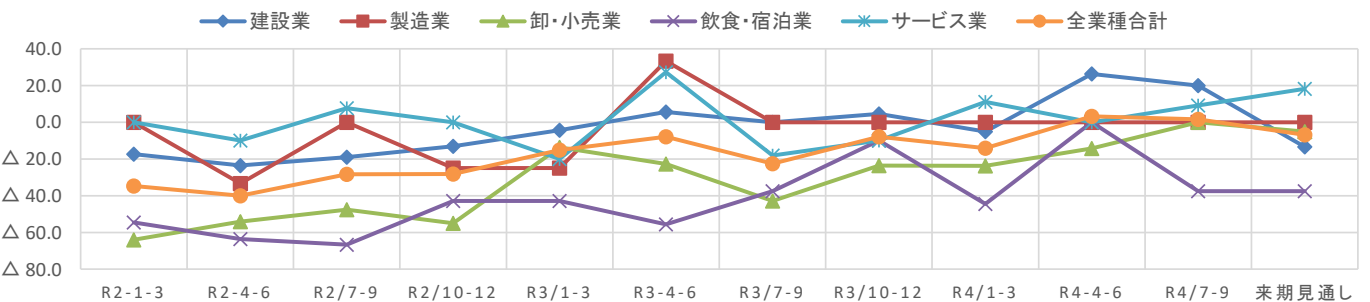
<コメント>

十日町市内全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で12.2ポイントで、前回調査時より0.1ポイント上昇している。建設業と製造業以外の業種で上昇という形となった。来期に関しては、全業種で低下予測となり、全業種DI値も低下する見通しとなっている。

<地区別：川西地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）



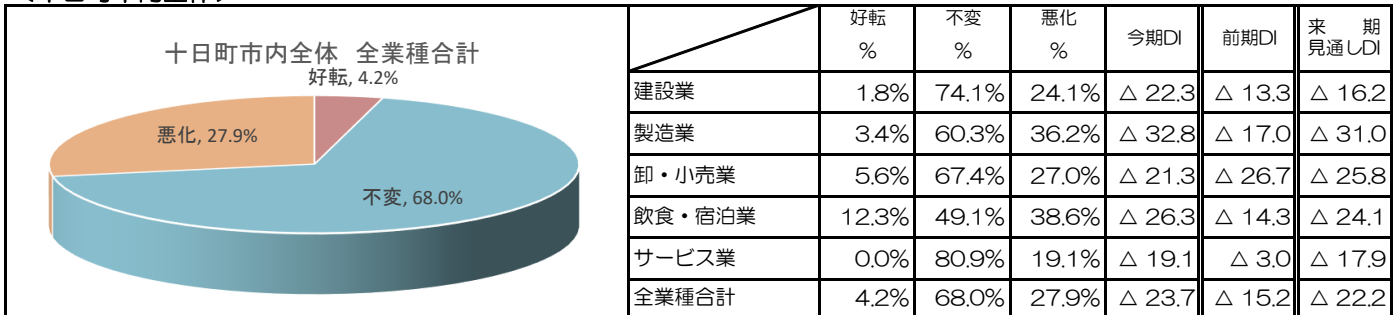
<コメント>

川西地区の今期の販売（客）単価の状況は全業種合計で1.7ポイントとなっており、前回調査時と比較して1.5ポイント減少している。卸・小売業、サービス業で上昇、建設業、飲食・宿泊業で減少が見られた。来期の見通しは、サービス業で上昇、建設業、卸・小売業で減少の予測となっており、全体では減少が見られた。

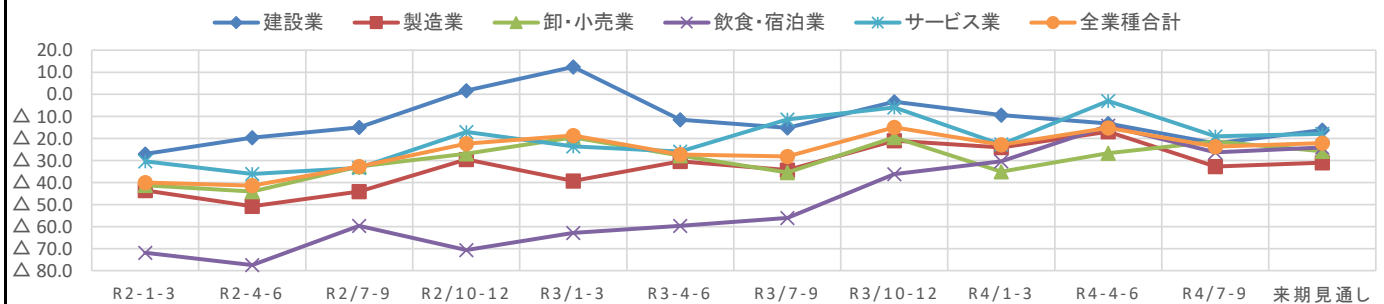
5. 資金繰りについて

- ・7月～9月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



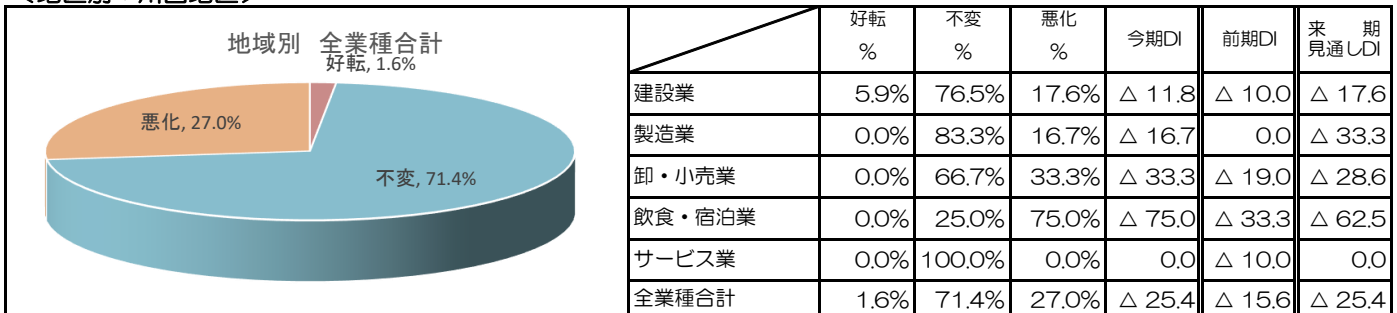
業種別資金繰りの推移(市内全体)



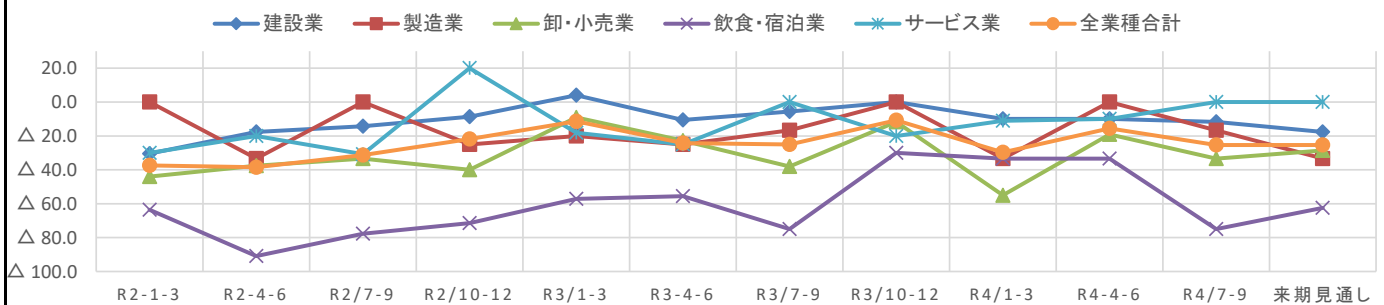
<コメント>

十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△23.7ポイントで、前回調査時より8.5ポイント悪化している。卸・小売業以外の業種で悪化という形となった。来期見通しとしては、卸・小売業以外の業種で改善予測となり、全業種DI値についても改善する見通しとなる。

<地区別：川西地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)



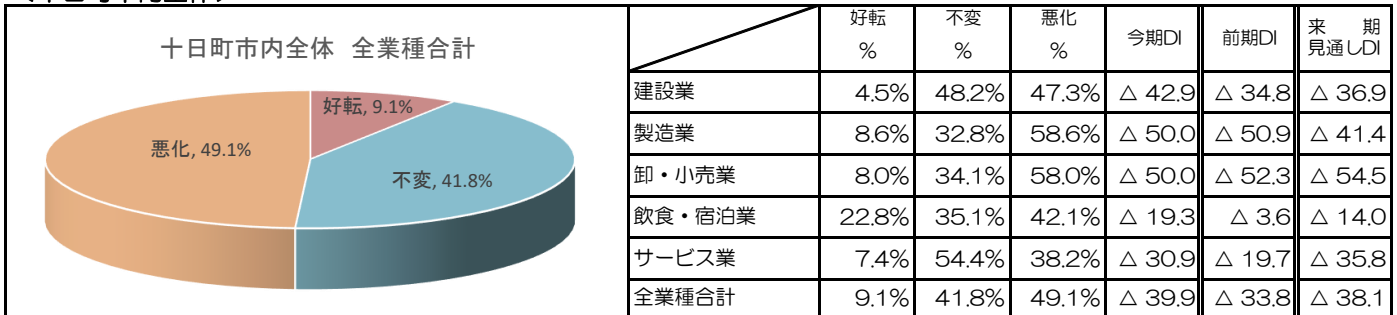
<コメント>

川西地区の今期の売上状況は全業種合計で△25.4ポイントとなっており、前回調査時より9.8ポイント悪化している。サービス業で好転、建設業、製造業、卸・小売業、飲食・宿泊業で悪化が見られた。全業種合計においては、今期から変動はないものの、業種別にみても、卸・小売業、飲食・宿泊業で好転、建設業、製造業では悪化予測となっている。

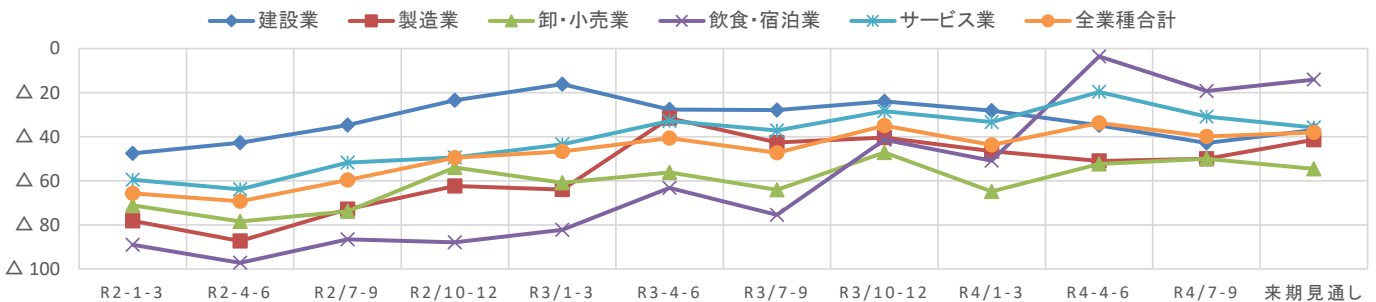
6. 景況判断について

- ・7月～9月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



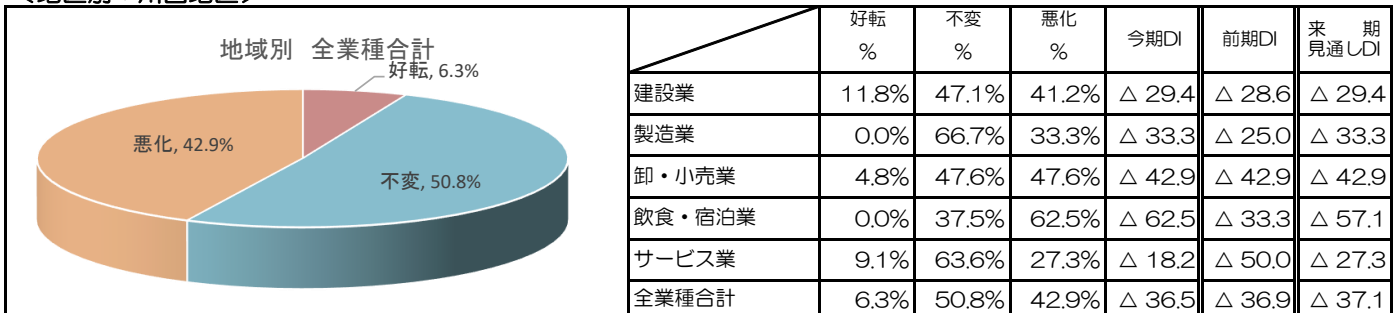
業種別景況判断の推移(市内全体)



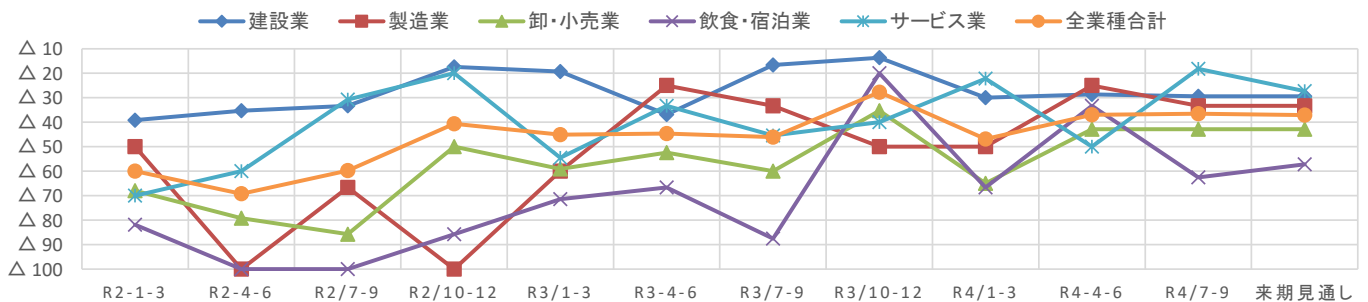
<コメント>

十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△39.9ポイントで、前回調査時よりも6.1ポイント悪化している。製造業と卸・小売業以外の業種で悪化が見受けられ、引き続き原料・燃料の高騰の影響が尾を引いていると予想される。来期見通しは、卸・小売業とサービス業以外で好転予測となり、全業種DI値についても若干好転する見通しである。今後の動向に注視したい。

<地区別：川西地区>



業種別景況判断の推移(地区別)



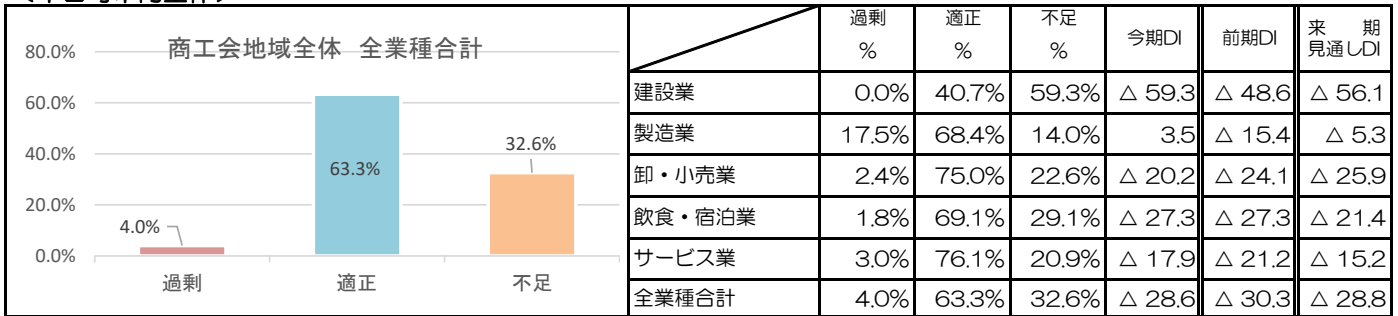
<コメント>

川西地区の今期の景況判断は全業種合計で△36.5ポイントとなっており、前回調査時より0.4ポイント好転している。サービス業では好転、建設業、製造業、飲食・宿泊業では悪化が見られた。来期の見通しは大半の業種で今期から変動がない予測となっており、全体でも大きな変動はないようである。ただし、飲食・宿泊業では好転、サービス業では悪化の予測が出ている。

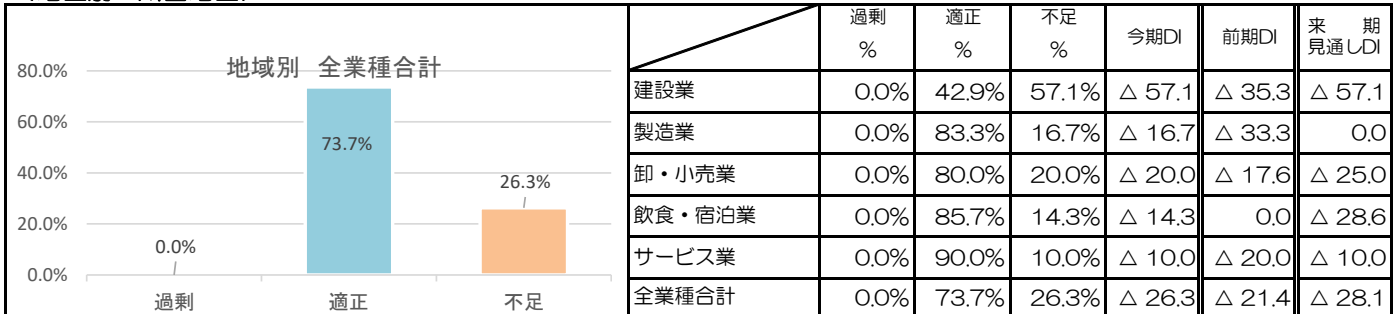
7. 従業員数について

- ・7月～9月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



<地区別：川西地区>

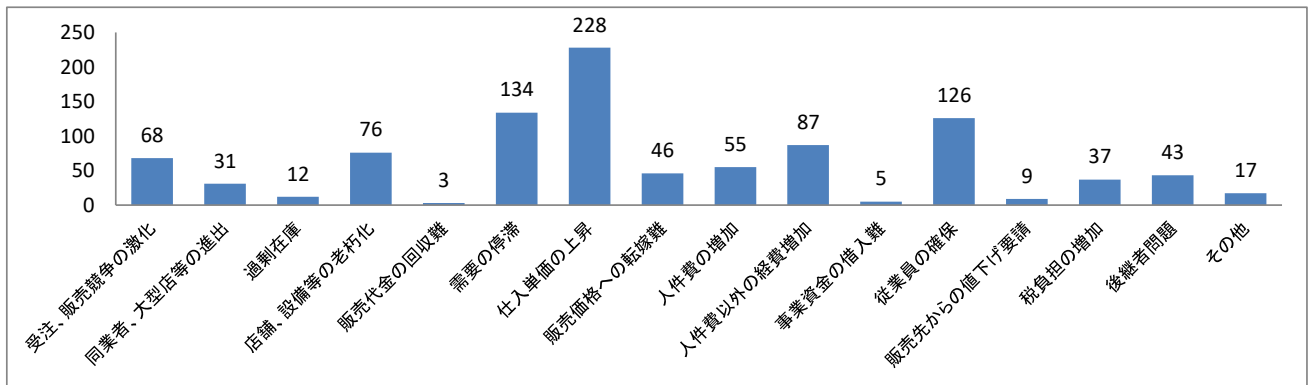


<コメント>

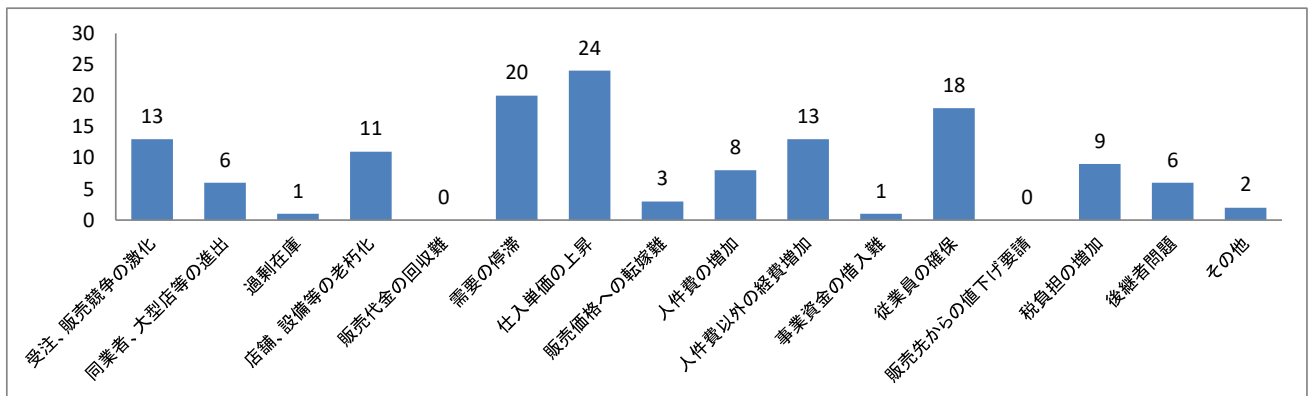
今期の従業員数(雇用動向)は、過剰回答が1.2%増加し、不足回答が0.5%前回調査時よりも減少している。川西地区の状況は、不足回答が4.9%増加しており、製造業、サービス業以外の業種で不足回答が増加している。来期見通しは、全業種合計では、さらに不足が予測されている。

8. 経営上の問題点(上位3つ)：7月～9月

十日町市内全体 全業種合計



地域別 全業種合計



<コメント>

今回調査での経営上の問題点は、1位「仕入単価の上昇」、2位「需要の停滞」、3位「従業員の確保」となり、上位3項目の変動はなかった。川西地区の経営上の問題は、1位「仕入単価の上昇」、2位「需要の停滞」となっており、上位2項目の変動はなかった。3位は「従業員の確保」となっており、前回調査時から順位をあげた。

9. 地区の景況概要

・7月～9月時点での全体概況は

<p>【建設業】 建設業では、売上の大幅な減少に加え、採算、資金繰りにおいても思わしくない結果となっている。また、従業員数について、回答事業者のうちの半数以上が不足回答であり、多くの事業所で問題となっているものと考えられる。来期見通しでは、売上、採算について好転予測となっているが、資金繰り、景況判断、従業員数については同水準予測となっている。経営上の問題点では、「従業員の確保」、「仕入単価の上昇」、「人件費以外の経費増加」の順に上位にあげられた。</p>
<p>【製造業】 製造業においては、売上を含む多くの項目で前期と同水準もしくは好転が見られた。ただし、来期の見通しにおいて売上の大幅減少や仕入単価の上昇が予測されており、資金繰りにも影響が及ぶ可能性がある。経営上の問題点として「需要の停滞」が最も多く回答されているが、その他の項目についても一定数の回答があり、多方面に課題を抱えているようである。</p>
<p>【卸・小売業】 卸・小売業では、多くの項目で回復が見られたが、従業員数については不足回答が増加している。来期の見通しは、売上の上昇予測があることから、採算や資金繰りについても好転するものと思われる。一方で、従業員数に関しては、今期よりも不足が見込まれており、問題となっていることが分かる。経営上の問題点として「仕入単価の上昇」、「需要の停滞」、「従業員の確保」の順に上位にあげられた。</p>
<p>【飲食・宿泊業】 飲食・宿泊業においては、売上の回復が見られたものの、採算や資金繰りについては前回調査時よりも悪化しているという結果となった。また、従業員数に関しても不足回答の増加が見られた。来期見通しでは、売上の減少予測は出ているが、今期で売上増加があったことから、採算については大きな変動はないものとなっている。従業員数に関しては、今期よりも不足が見込まれている。経営上の問題点では、「店舗、設備等の老朽化」、「仕入単価の上昇」が同数で1位となった。</p>
<p>【サービス業】 サービス業では、売上増加及び仕入単価の減少があり、採算、資金繰りなどの他の項目についても好転が示されている。来期見通しについては、売上について増加予測が示されている一方で、仕入単価の上昇予測も見られることから、採算について悪化が予測されている。経営上の問題点では、「需要の停滞」が一番多く回答されており、「店舗、設備の老朽化」、「仕入単価の上昇」、「人件費以外の経費増加」、「税負担の増加」が同数で次いでいる。</p>